

改革プラン具体的取り組み項目進捗状況(平成 22 年度実績)

◎ 計画通り達成・完了した項目

○ 計画通り推進している項目

⇒ 今後推進すべき項目

【大項目 1：運営基盤の強化】

中項目	小項目	H22 年度		計画達成に向けた H23 年度の目標
		達成度	実績・課題等	
(1) 組織・機構・人材	①地方公営企業法の全部適用	⇒	先進病院の資料収集	全部適用による効果の検討
	②医師の確保	⇒	関係機関へ要請を展開中	医師確保対策として、医師の労働環境等の見直しを図る。
	③研修医の確保	○	一定数の研修医は確保	プレメンション・病院見学等を通じて定員確保を図る
	④看護師の確保	○	定時・随時・アルバイトにより確保 15 名	学資金貸与の内容を拡大し、看護師等確保を図る。今後は地域全体の問題として広く市民へも協力を呼びかける。
	⑤精神科病棟改築検討委員会設置	⇒	準備検討委員会を設置	改築委員会の設置。改築に向けて基本設計を実施する。
(2) 診療機能等の向上	①救急・ICU 病棟の増改築	◎	H20 年度整備済み	
	②ICU 病棟の早期稼働	◎	H20 年度稼働	
	③クリティカルパスの推進	⇒	パス（入院治療計画）の数を拡大	引き続き新規のパスを作成し患者中心の医療を展開する。
	④高度医療機器の整備	○	医療機器の更新整備を実施 電子カルテ導入	医療機器選定委員会による、優先度が高く、効果的な機器選定を行う。 診療情報システム委員会で効率的な電子カルテシステム運用を検討する。
	⑤既存施設の改修	○	外来空調整備 感染対策として手洗い水栓工事	引き続き既存施設の老朽化と新たな患者のニーズに対応した施設の改修を実施する。 NICU・LDR 設備工事
	⑥駐車場整備の検討	○	古い医師住宅を解体し駐車場整備を実施	精神科病棟改築と併せて駐車場の整備を検討する

【大項目2：経営の改善】

中項目	小項目	H22年度		計画達成に向けたH23年度の目標
		達成度	実績・課題等	
(1) 医業収入等の確保	①外来患者の確保	⇒	対前年比減・結果分析	1人当たりの診療密度を上げて単価上昇により増収を図る。
	②入院患者の確保	⇒	//	地域医療機関との連携強化を図る。
	③DPCの導入	◎	H21年度実施済み	DPC分析ソフトを活用して効率的な収益確保を図る。
	④診療報酬請求漏れの防止	○	収益査定減対策委員会での検証を強化	診療部・看護部・医事部門間の連携強化を図る。
	⑤未収金対策	○	管内外徴収を実施	本人・連帯保証人への催告を強化し未収金の整理を図る。
	⑥病床の効率的運用	○	診療・看護部門間の連携を強化	亜急性期病床の検討を行う。
(2) 医業費用等の見直し	①医療職給料表への検討	⇒	資料収集	他病院の調査も行いながら、導入シミュレーション作成。
	②効率的な人員配置	⇒	業務内容・方法の改善	引き続き職場実態調査を実施し業務内容・方法の改善を図る
	③薬品・診療材料費の節減	○	後発薬品採用率拡大、血液製剤の廃棄率低下 経営コンサルタントの導入を行った	引き続き後発薬品採用率拡大を図る。類似材料を統一し種類を減らし材料費削減を図る。また、近隣病院と材料の共同購入も検討する。
	④物品管理体制の確立	○	物品管理体制のあり方について検討	病棟在庫等の見直しを行い、不良在庫の抑制を図る。
	⑤費用分析の強化	⇒	経営コンサルタントを導入	コンサルタント会社のデータをもとに他病院と比較を行い、より適正な価格での材料購入を行う
	⑥その他管理的経費の節減	○	看護部におけるTQM活動の推進	職員への節減意識の醸成とTQM活動の実践を図る。
	⑦外部委託業務の推進	⇒	契約更新時における内容等の見直し	外部委託可能部門についての調査研究。

【大項目3：サービスの向上】

中項目	小項目	H22年度		計画達成に向けたH23年度の目標
		達成度	実績・課題等	
(1) 職員の資 質向上	① 接遇研修等の実施	○	全職員を対象にした接遇研修の実施	教育委員会が主体となり継続的に研修を実施する。
	② 人事考課制度の導入検討	⇒	先進病院の事例調査	部署別人事評価の取り組み推進
(2) 患者満足 度向上等	③ 外来待ち時間・満足度等の調査	○	調査の実施・分析	継続して患者満足度調査を実施
	④ 医療情報の提供	○	市民公開講座の実施	市民公開講座・学術講演会を実施。ホームページ充実を図る。
	⑤ 病院ボランティアの配置	⇒	募集方法の再検討	患者及び来院者へのサービス向上を図る。
	⑥ 病院機能評価受審	◎	H21年度機能評価認定更新（Ver6）	次回受審に向けて、課題を整理する。